

# 川島町立西中学校



外観

埼玉県比企郡の「川島町立西中学校」は、「学ぶ・鍛える・思いやる」を教育目標とし、大きな世界で活躍できる人材を育成する学校を目指して、1993（平成5）年に創立された町立中学校である。



女子トイレ 洗面コーナー



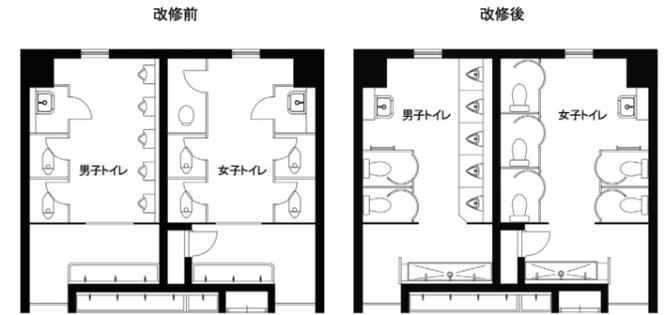
洗面コーナーの流し台には、既存の配管を生かして壁付自動水栓を設置。自動水栓は乾電池交換などのメンテナンス負荷軽減に配慮して、AC100Vタイプを採用している。



女子トイレ 大便器コーナー

大便器ブースは、限られたスペースに改修前と同数を維持し、さらに和式便器から洋式便器に変更するにあたり、スペースを活用するため、トイレブースにはドアが弧を描くようにスライドして開閉する扉を採用した。

## トイレ図面



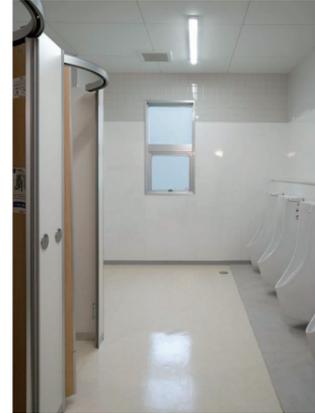
女子トイレ 大便器ブース

大便器は、コンパクト設計で連続洗浄も可能な節水形便器のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式にウォシュレットを設置。また便器の洗浄とウォシュレットは、使いやすいエコリモンを採用している。



男子トイレ 洗面コーナー

女子トイレ同様に、洗面コーナーの水栓金具は、衛生面と節水性に配慮して、非接触で水の出し止めができ、止め忘れがない自動水栓を採用。



男子トイレ 小便器コーナー

衛生的で清潔なトイレ空間を維持するために、清掃方法を湿式清掃から乾式清掃に変更。壁は、上部のみタイルを残し、汚れにくいパネルに変更することで、限られた予算内で、衛生性と快適性を実現している。

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

埼玉県比企郡川島町立の小中学校では、防災機能強化の視点からの耐震化工事は完了しているが、トイレについては老朽化が進んでいたため、平成29年度から令和4年度にかけ、トイレの洋式化と乾式化の整備を順次進行。今回改修対象となった「川島町立西中学校」は、「学ぶ・鍛える・思いやる」を教育目標とする、1993年（平成5年）に創立された町立中学校である。築約30年が経過しているなか、改修前のトイレは、壁や床がタイル張りで、大便器のほとんどが和式便器であるなど、設備の老朽化が進んでいた。このたびの校舎棟のトイレ改修により、教育環境の改善のほか、災害時などの避難場所としての快適性と衛生性が実現された。

### トイレの特長

現在の生活様式にあわせて、すべての大便器を洋式便器に変更。限られたスペースを生かしながらブース数を維持、さらに、家庭での普及率が高いウォシュレットも、すべての大便器に設置している。また、生徒から地域の方々までさまざまな人が使いやすいように、ウォシュレットと便器の洗浄はリモコン操作とし、ボタンを押すたびに発電し電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモンを設置。使いやすさだけでなく、管理面にも配慮している。加えて、衛生面にも配慮し、洗面コーナーには自動水栓、小便器は床の清掃もしやすい壁掛型の自動洗浄小便器を採用。汚れやすい壁面にパネルを採用するなど、衛生性、節水性、快適性にこだわり、学校を訪れるすべての人が安心して使えるトイレが実現した。



男子トイレ 小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。



男子トイレ 大便器ブース



すべてのブースには、洋式便器とウォシュレットを設置。便器洗浄とウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに発電し乾電池や電源工事が不要のエコリモンを採用している。



掃除流しコーナー

大便器ブースの最奥に、掃除用流しコーナーを設置。パブリック用流しの横には、掃除用具が使いやすいよう、きれいに整理・整頓されている。

## 建築概要

名称	川島町立西中学校
所在地	埼玉県比企郡川島町大字中山270-1
施主	川島町
設計	株式会社新日本設計
施工	株式会社島村工業
竣工年月	(改修)2021年10月
敷地面積	28,452㎡
延床面積	6,656㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階

### おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BM  
 ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモン）:TCF5534AU  
 柵付二連紙巻器:YH701／自動洗浄小便器:UFS900R  
 壁付自動水栓:TENA13系／パブリック用流し:SK22A